

生産局長賞

農事組合法人 そよかぜ館

～地域の地産地消、食農教育、グリーンツーリズムの拠点となる直売所の取組～

代表者：小野 善隆
所在地：佐賀県

構成員：そよかぜ館組合員11名、会員350名、
従業員9名、パート9名
活動開始年月日：平成13年12月

表彰理由

直売所「そよかぜ館」を中心として、地域農産物の生産販売の拡大に役立っているに止まらず、ホテル、保育園、病院等への地場農産物の納入、様々な体験教室による消費者との交流などのほか、耕作放棄地を活用した体験農園、農家民泊などグリーンツーリズムの拠点となるなど地域の活性化にも貢献。

取組内容

1 直売所を中心とした地域農産物の生産拡大

直売所の品揃えを確保するため、契約栽培に段階的に取り組むほか、高齢農業者に対する直売所向けの少量多品目生産の研修などを行い、出荷農家の経営の安定化や農産物の生産拡大を推進。

約300年の歴史を持つ松梅地区の名産干し柿を使用した「干し柿ソフトクリーム」や「干し柿ようかん」などを開発・販売。

厳しい出荷規則や罰則規定を設けることで、消費者のニーズを的確に捉えた品揃えや品質を確保するとともに、県内産のみを販売し、卸売市場からの仕入れはしないというこだわり。

ホテル、保育園、病院・高齢者福祉施設へ食材提供するとともに、地場農産物や生産者を紹介。

安全・安心な農産物を提供するため、出荷者に対して、環境保全型農業の研修を実施。

2 食農教育、グリーンツーリズム等への貢献

地域案内人「エスコーター」として、地域の農産加工名人や隠れた観光情報を提供しているほか、都市住民に田舎の生活を体験してもらう「田舎親戚づくり」を企画するなど、グリーンツーリズムの拠点として機能。

都市住民と農村住民をつなげる、田植えから稲刈り体験、みそ作り体験、こんにゃく作り体験など10種類の体験教室を実施。

農家から遊休農地の管理委託を受け、都市住民が農作業を行う体験農園として利用。